

市内作家による アート・グループ展 2024

テーマ「つながる」

2021年度から開催し、今年で4回目となるアート・グループ展。

今年度は「つながる」をテーマに、長野市ゆかりの若手作家5名の複数新作（エントリー作品を含む）を展示します。



酒井香菜 青い花 [油彩]



北澤聖加
つながる家族（田中家3人娘） [アクリル]



宮内由梨 S.Script-Score K. [写真]



岸田 怜 大鉢「～を求めて」 [陶磁器]



小山大誠 渦 [アクリル]

池袋アートギャザリング公募展 IAG AWARDS 2024 「長野市芸術館特別賞」受賞作家2名が参加！

東京・池袋で開催された「池袋アートギャザリング公募展 IAG AWARDS 2024」において「長野市芸術館特別賞」を受賞した2名を招聘作家として同時に作品展示します。



川原井康之 渦流 [リトグラフ]

2024

9/14 (土) ~ 9/23 (月・祝)

10:00 - 18:00

火曜休館（9/17）
最終日のみ 17:00 閉場

■長野市芸術館 展示サロン（1F）

■入場無料

*駐車場（有料）には限りがありますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。





岸田 怜 Ryo Kishida 【陶磁器】

1984年長野県出身。長野市在住。島田芳博氏に師事。2009年東日本伝統工芸展初入選（以降入選10回）。2014年日本伝統工芸展初入選（以降入選8回）。2015年菊池ビエンナーレ初入選（以降入選2回）。2019年日本陶芸展賞候補。2020年現代茶陶展 TOKI 織部奨励賞。2021年笠間陶芸大賞展入選。2023年有田国際陶磁器展（美術部門）日本経済新聞社賞など受賞歴多数。日本工芸会正会員。個展、グループ展など出展多数。彫りと染付を使い制作し、自分をいかに作品の中に表現できるかを常に意識している。



北澤聖加 Kiyoka Kitazawa 【アクリル】

1998年長野市出身。長野市在住。2017年東北芸術工科大学芸術学部美術科洋画コース入学。在学中、山形で学内・学外のアートプロジェクトやグループ展に多数参加。2021年卒業。就職し、現在は平面作品およびインスタレーションにより、自身が日頃考えていることや抱えている問題を作品として昇華する制作を続けている。



小山大誠 Taisei Koyama 【アクリル】

1998年長野市出身。長野市在住。2023年10月活動開始。コロナ禍をきっかけに2023年初め頃、独学で制作を始める。主な活動歴に、2023年10月個展（popup Gallery T）、2024年3月「アートフェア長野」展示など。



酒井香菜 Kana Sakai 【油彩】

1993年群馬県高崎市出身。長野市在住。専門学校で美術家 M 氏の授業を受け、絵の道へ進み始める。その頃より、自然界にあるものたちを心の赴くままに色々とスケッチする。2022年に初個展「星の船」を開催（長野市 Gallery MAZEKOZE）。2023年より新たな扉を開く為、アトリエの仲間で音楽活動 M・O・F（モフ）を開始。絵画教室のアシスタントをしながら、美術を通して人と関わり、日々制作している。



宮内由梨 Yuri Miauchi 【写真】

長野市出身。京都造形芸術大学卒業。沖縄、ロンドンを経て、現在は横浜を拠点に活動する。身体感覚、とりわけ皮膚感覚や内臓感覚に焦点を当てる。主な展覧会に「水と土の芸術祭 2015, 2018」（清五郎瀧、新潟）、「アーツ・チャレンジ 2022」（愛知芸術センター、愛知）、「VOCA 展 2023」（上野の森美術館、東京）、個展「Scraped Script - はがされた余韻や明ける癒紋」（gallery N 神田社宅、東京）、「第1回 BUG Art Award ファイナリスト展」（BUG、東京）など。

**「池袋アートギャザリング公募展 IAG AWARDS 2024」
「長野市芸術館特別賞」受賞作家 プロフィール**



川原井康之 Yasuyuki Kawarai 【リトグラフ・ペン画】

1997年東京都出身。2015年東京造形大学入学、2019年卒業。埼玉県在住。リトグラフ、ペン画作品を主に制作。2017年第6回 FEI PRINT AWARD オーディエンス賞受賞。2018年第62回 CWAJ 現代版画展、2021年第10回「ドロウイングとは何か」展、2022年第1回 FEI PURO ART AWARD、第65回 CWAJ 現代版画展 参加。2023年 IAG AWARDS 2023 奨励賞受賞。第2回 FEI PURO ART AWARD、第90回記念版画展 参加。2024年ギャラリー自由が丘「New Power 展 Vol.6」参加。IAG AWARDS 2024 準大賞・長野市芸術館賞受賞。他展示多数。



ヒョーゴコーイチ Kooichi Hyoogo 【炭化彫刻】

新潟県出身。2019年から作家活動を始める。主な技法は炭化彫刻。創作は樹々の「炭焼き」から始まります。主に檜や杉材を伝統的な炭焼き技術で炭窯でじっくりと炭化。熱分解によりガラス質へと生まれ変わった「炭」に美を見だし彫り刻んで形を作ります。今回の作品は、居住している栃木県の檜林の間伐材を使用し制作をしております。光を求めて成長する個々の枝を炭にして一つに繋がります。その後、磨きあげた炭の輝きは過去を回想し未来への希望を表します。オリジナル技法である「炭化彫刻」で人と自然との共存や循環、再生をテーマに炭化技法が国際的な芸術表現として広まるよう創作活動をしています。